

教 科	科 目 名	単 位 数	学 年	学科またはコース	履 修
国 語	国語表現	3	3	全 学 科	必履修

(1) 科目のねらい、使用教材など

科目のねらい	・国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。 ・思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く。 ・基礎事項の繰り返し学習を重視し、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
使用教材など	『国語表現』（大修館書店） 『最新国語便覧（浜島書店）』 『国語必携 パーフェクト演習（尚文出版）』

(2) 年間予定

期	時数	学 習 内 容	学習のポイント
一学期	4	書く能力、話す・聞く能力の基礎を確かなものにする	
	5	1 書いて伝える ●「整った文を書く」(3) ●「わかりやすい文を書く」(3) ●「文のつながり」(3)	* 主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違い等、整った文を書くために大切なことを理解する。 * わかりやすい文にする方法を理解する。 * 文脈による文のつながりを理解する。
	6	2 作文を書こう ● 作文の書き方を復習する(4) ● 就職作文を書く(4)	* 経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 * 事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。
	7	3 自己PRと面接 ●「自分を見つめて」(3) ●「効果的な自己PR」(3) ●「将来の自分を考えよう」(4) ●「志望動機をまとめよう」(4) ●「面接にチャレンジ」(4) ●「履歴書の書き方」(4)	* 調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。 * 適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 * 履歴書を書く時の留意点を押さえ、実際に書いてみる。
	40	◎7月1学期期末試験(1)	
二学期	8	4 メディアを駆使する ●「通信文を書き分ける」(5) ●「電話を使いこなす」(5) ●「ネット社会とコミュニケーション」(5)	* 小論文の基本的な書き方を理解する。 * 原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。 * 自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。
	9	5 会話・議論・発表 ●「相手や場面に応じた会話」(5)	* さまざまな通信文の形式を理解する。 * 相手に応じた適切な言葉遣いや応対のしかたを理解する。
	10	表現すること自体を楽しみ、主体的に学習に取り組む	* ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。 * 場面にあふさわしい言葉遣いを考える。 * 適切な言葉遣いでロールプレイをする。
	11	6 言葉で遊ぶ ●「回文・折り句・しりとりなど」(4)	
	12	7 詩歌を楽しむ ●「俳句・短歌、和歌、漢詩の翻訳、詩」(12)	* さまざまな言葉遊びを知り、おもしろさを味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 * さまざまな詩歌を読み、味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 * 高校生が身につけておくべき敬語について理解し、適切な敬語の使い方ができるようにする
	42	※読書案内(1) 常用漢字(1) 四字熟語(1) ことわざ(1) ◎8月課題テスト(1) 9月2学期中間試験(1) 12月2学期期末試験(1)	

三 学 期	1	6	8 会話・議論・発表 ●「プレゼンテーションの工夫」 (5)	*会議のルールや進行する際の注意点などを学ぶ。 *グループの会議を通して企画を立案し、プレゼンで企画の内容を発表することで、会議進め方を学ぶ。
			◎学年末試験(1)	

(3) 評価の観点

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く	書く	読む	知識・理解
評価の内容	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	・学習活動への参加姿勢や態度 ・ノート、プリント、ワークシート	・学習活動における発言内容や態度 ・ノート、プリント、ワークシート	・感想文などの作成した文章 ・ノート、プリント、ワークシート ・定期考査	・学習活動における発言内容や態度 ・ノート、プリント、ワークシート ・定期考査	・学習活動における発言内容 ・ノート、プリント、ワークシート ・定期考査

(4) 評価項目・評価点など

評価項目・学習にあたって・評価点		
① 定期テスト	1年に4回行われます。高校3年生としての言語的な基礎学力が身につくように学習しましょう。	70点
②ノート・プリント提出	毎時間渡されるプリントは、必ず提出すること。意欲的に学習し、〆切を守って提出しましょう。	30点
③課題提出	定期考査や課題テストを区切りとして、「パーフェクト演習」をワークとして用います。意欲的に学習し、〆切を守って提出しましょう。	
④授業	国語常識の学習も行います。予習・復習を積極的に行うようにして下さい。授業に際し、教科書・辞書・図説・ファイル・ワーク等は必ず準備し、着席していること。休まずに出席し、積極的に授業に参加していること。授業において自分なりに考え、挙手や発言等で適切に表現していることを評価します。	